

■米国：カリフォルニア州沖の浮体式洋上風力事業、覚書を締結

エネルギー専門情報サイトは 2019 年 8 月 16 日、カリフォルニア州沖合で進められる浮体式洋上風力発電事業に関連して覚書が締結されたことを報じた。締結したのは事業主体の Castle Wind と地元コミュニティの電力需要集約事業者である Monterey Bay Community Power (MBCP)。これにより Castle Wind は廃止される火力発電所の送電線を利用できることになり、MBCP は洋上風力事業から電力供給を受けることになる。Castle Wind は浮体構造の開発を進める米国の事業者である Trident Winds と、ドイツの電気事業者である EnBW の共同事業体で、2025 年に 100 万 kW 程度の浮体式洋上風力発電を開始する計画である。発電所の設置場所は沖合 53km で水深は 800~1,000m のため浮体式とならざるを得ないが、調査によると平均風速は 8.5m/s を越え、稼働率は 50%以上となることが期待されている。